

宮造協会員の皆様へ

# 宮造協NEWS Vol.17

発行元  
(一社)宮城県造園建設業協会  
TEL：022-265-5512  
FAX：022-265-5589

今回は、協会40周年記念事業についてお知らせいたします。

## ● 協会40周年記念事業について

令和5年に当協会は、設立40周年という大きな節目の記念すべき年を迎えることとなります。そのため、本年度は「記念事業部会」「記念誌部会」「式典広報部会」の3部会で構成する「設立40周年記念事業特別委員会」を設置し、記念事業と祝賀のあり方について検討しております。

## ● 記念事業のあり方について

40周年記念事業で最も重要になるのが記念事業の企画・立案です。去る7月21日(水)に設立40周年記念事業特別委員会(記念事業部会)を開催し、残月亭の茶庭作庭を記念事業として実施することにいたしました。

その事業内容につきましては、概ね以下のとおりです。

## ◆ 残月亭の茶庭作庭とした理由

令和5年4月26日～6月18日までの54日間、青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川地区をメイン会場に仙台フェアが開催されます。その際、仙台市では追廻地区に「もりの庭園」(通称表林)を整備し、当該地に残月亭を移築して、約300㎡の茶庭を整備することとしております。

当委員会では、40周年記念事業と第40回仙台フェアとが時と数を同じくする運命から、残月亭の茶庭作庭が記念事業に最も相応しいとの結論に至りました。

## ◆ 茶庭の設計方法

残月亭の移築にあたり、仙台市では、今後インバウンド等を踏まえ、観光体験の場として整備することから、茶庭の作庭は流儀をわきまえた趣のある設えでなければなりません。

そのため、残月亭茶庭の設計は、協会の次代を担う中堅技術者が記念事業部会の構成委員であることから、部会の持つノウハウを生かして“仙台らしさ”を表現した設計図案を作成しますが、その際、わが国で茶庭作庭の第一人者であり、多くの会員と馴染みのある京都市の岡本耕蔵氏に指導を受けることとします。

## ◆ 茶庭の作庭方法

茶庭の作庭は、後世に引き継ぐ重要な技法ですが、受注の機会が稀で容易に経験できるものではないので、この機会に若手造園技術者を対象にした茶庭体験学習など造園連本部の事業との連携なども含めて検討することとしております。

## ◆ 茶庭の作庭予算

茶庭のグレード等により、作庭費は異なりますが、約300㎡であれば概ね500万円程度と試算しております。

茶庭の発注方法等につきましては、今後仙台市と協議の上決定することになりますが、いずれにしても、当該事業予算は約300万円程度と考えております。

以上が現時点での中間報告になります。今後、残月亭茶庭の作庭を進めて行く上でアドバイス等があれば以下に記入の上、8月6日(金)までFAXにて送付願います。

【ご意見・ご提案欄】 氏名：

送付先 FAX：022-265-5589